



証券コード6400

# 2021年12月期 決算説明資料

2022年2月14日

## 不二精機株式会社

### おことわり

この開示資料に掲載されている当社の将来に関する計画などは、現在入手可能な情報による判断に基づいております。種々の要因により、これらの計画などが変動する可能性があることをご承知おきください。

(金額は、百万円未満を四捨五入して記載しております)

1. 私たちの企業理念（使命、価値観、目指す企業像）	P 2
2. 不二精機グループ ご案内	P 3
・会社概要 ・事業構造の変遷 ・各事業の強みと中期方針 ・不二精機グループ 事業別拠点 ・事業別主要製品（金型事業、成形品事業）	
3. 売上高推移（事業別、事業/分野別）	P 9
4. 2021年12月期 決算概要	P 12
5. 2022年12月期 業績予想と要因	P 15
6. 株主還元	P 21
7. トピックス（鈴鹿工場開設準備状況）	P 22
8. 不二精機グループ グローバル体制構築	P 23

# 私たちの企業理念

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

## 『私たちの使命』（ミッション）何のために存在し、何をを目指すのか

全社員一人ひとりが、情熱を持って自律的に考えて動く、「不二＝2つとないオンリーワン」企業となり、お客様に安心をお届けすることを通じ、社会に貢献し、社員の幸福の実現を目指します！

## 『私たちの価値観』（バリュー）-社訓- 何を大切に考えるのか

「技術は命」－決して絶えることのない技術革新を継続しなければ企業として存続できず、社員の生活も守れません。

「良品は力」－お客様にとって、最適な製品・サービスを提供することが、企業発展のための最高の力になります。

「誠意は道」－企業人である前に、一人の社会人として、常に誠意を持って人と接することは、すべての基本です。



## 『私たちが目指す企業像』（ビジョン）

# 考勤で価値を創る

ひとりひとりが考えて動く“Kodoman”となり  
新たな価値を創りだそう！



楽しく働きがいのある私の会社

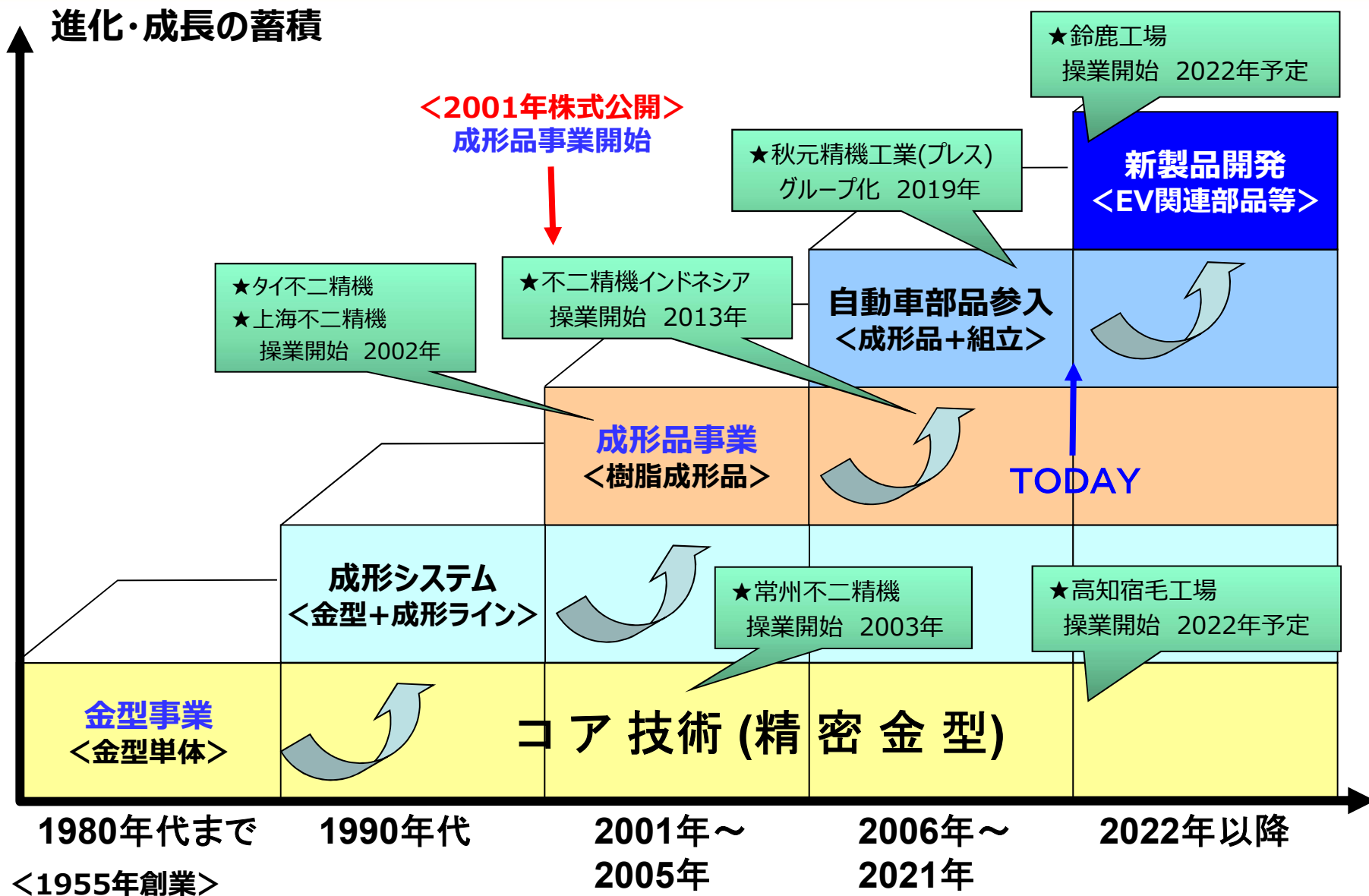
PRODUCT MOTHER  
FUJI SEIKI

商号	不二精機株式会社 (FUJI SEIKI CO., LTD.)
市場区分	ジャスダック・スタンダード (証券コード6400)
	<2001年8月店頭市場登録>
設立	1965年7月 (創業1955年3月)
本社	大阪府中央区瓦町4丁目8-4 井門瓦町第2ビル
代表者	代表取締役社長 伊井 剛
資本金	500百万円 (決算期12月)
従業員数(連結)	533人 (2021年12月31現在)
拠点	国内4拠点、中国2拠点、タイ、インドネシア
事業内容	精密金型および精密成形品の製造・販売

URL: <https://www.fujiseiki.com>



# 事業構造の変遷 <金型から金型+成形品へ> PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



## 精密金型事業

《祖業であり競争力の源泉》

### 強み（金型設計ノウハウと加工技術）

- ①ハイサイクル（金型の開閉スピードが速い）
- ②多数個取り（1サイクルで多数の成形品の生産が可能）
- ③不良率・バラツキの極小化（生産工程自動化に寄与）
- ④長寿命（長期に亘り安定生産ができる）

長期間・大量に生産する注射器・点滴用品など生産工程が自動化されている医療関連分野では、成形品のコストダウンと安定生産に貢献しています。

参入障壁の高い自動車関連部品に  
参入できた要因

## 精密成形品事業

《金型の競争力を活用した事業展開》

### 強み（海外展開力と現地対応）

- ①海外展開実績（タイ・インドネシア・中国）－2001年以来
- ②金型メンテナンスなどの対応が現地で可能（成形ラインの安定）
- ③品質管理体制の着実な整備（安定供給体制）
- ④顧客の日本での開発・購買部門との連携（現地での調整低減）

### 中期方針

- 高付加価値製品への集中（医療・食品・自動車関連）
- 研究開発投資の計画的な実施
- 生産性向上による利益率の改善

### 中期方針

- 自動車関連部品の増産（電気自動車関連に注力）
- 東南アジア市場での生産能力拡大

# 不二精機グループ 事業別拠点

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

## 不二精機グループ 533名

### 国内勤務者130名

### 金型事業

生産拠点2工場

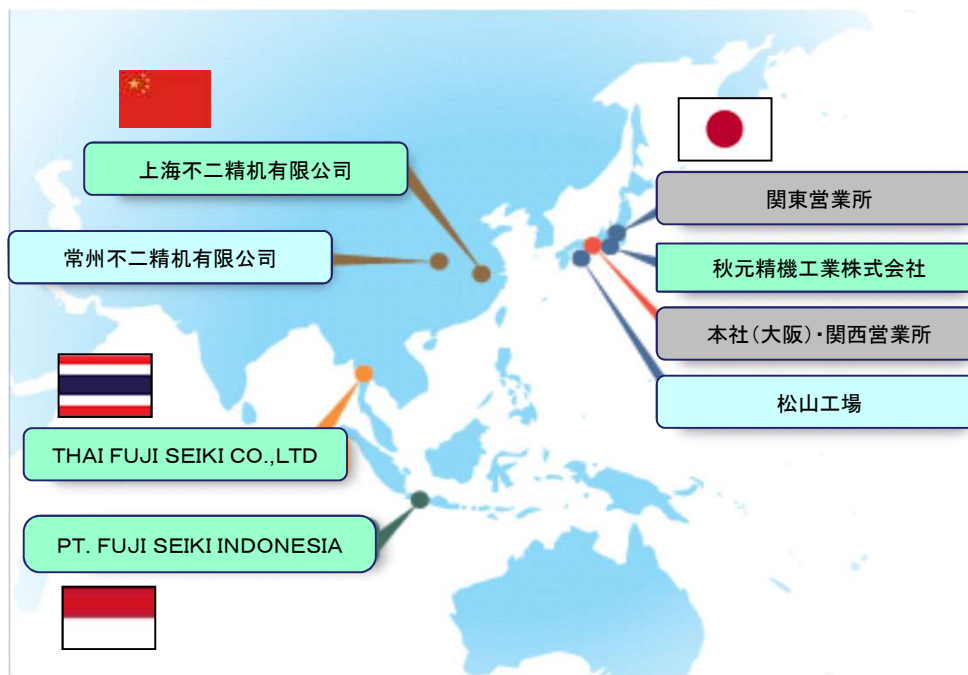


■松山工場

122名



■常州不二精机有限公司



### 営業拠点(国内)

2拠点



■本社(大阪市)  
関西営業所



■関東営業所

### 成形品事業 18名

生産拠点4工場



■秋元精機工業株式会社

65名



■上海不二精机有限公司

130名



■THAI FUJI SEIKI CO., LTD.

86名



■PT.FUJI SEIKI INDONESIA

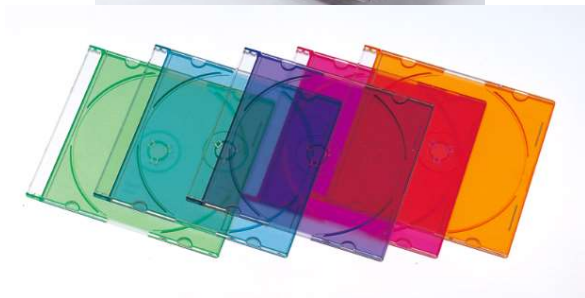
## 医療機器用金型



## 食品関連金型

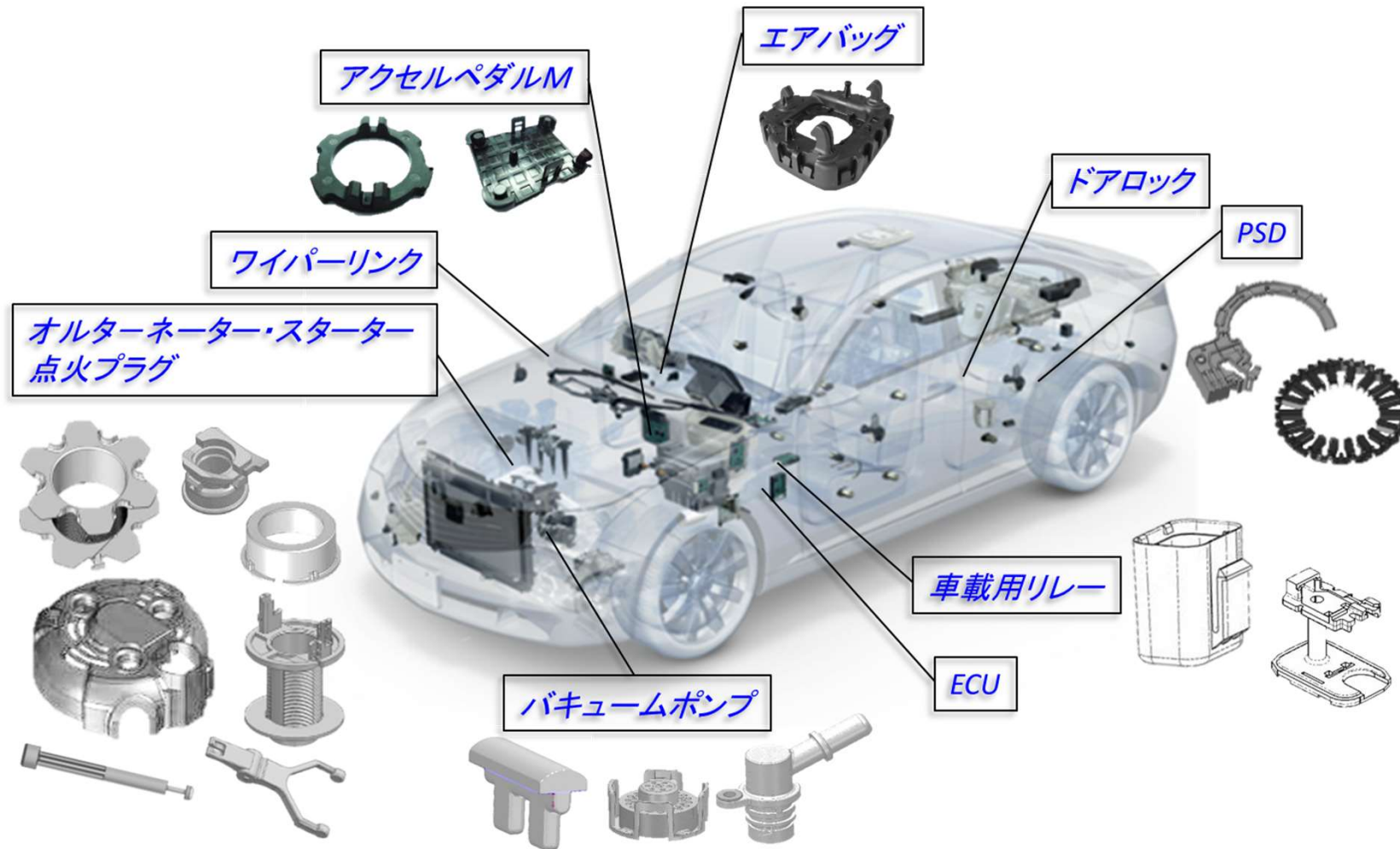


## 情報関連金型 など



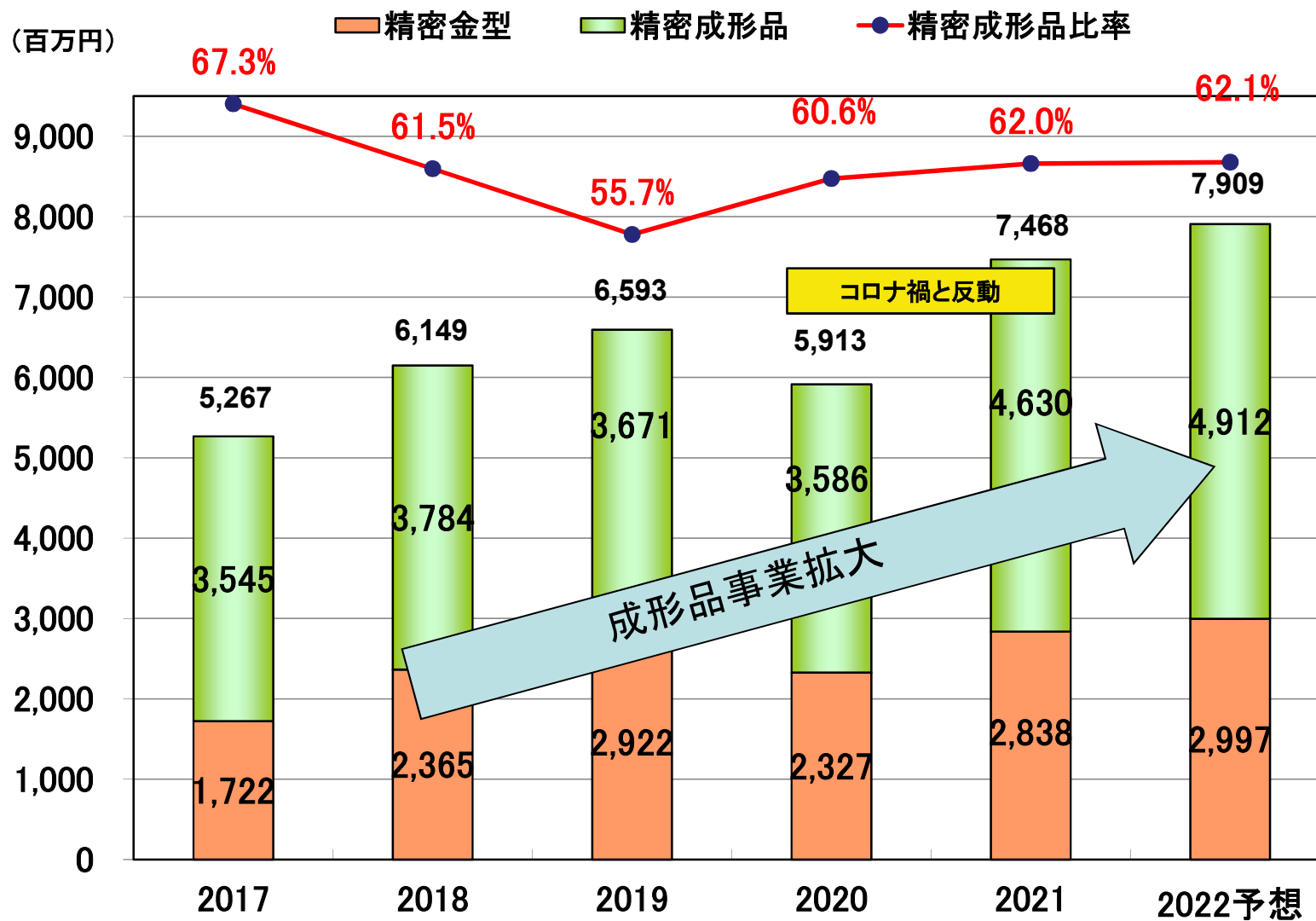


## 主力の自動車関連部品



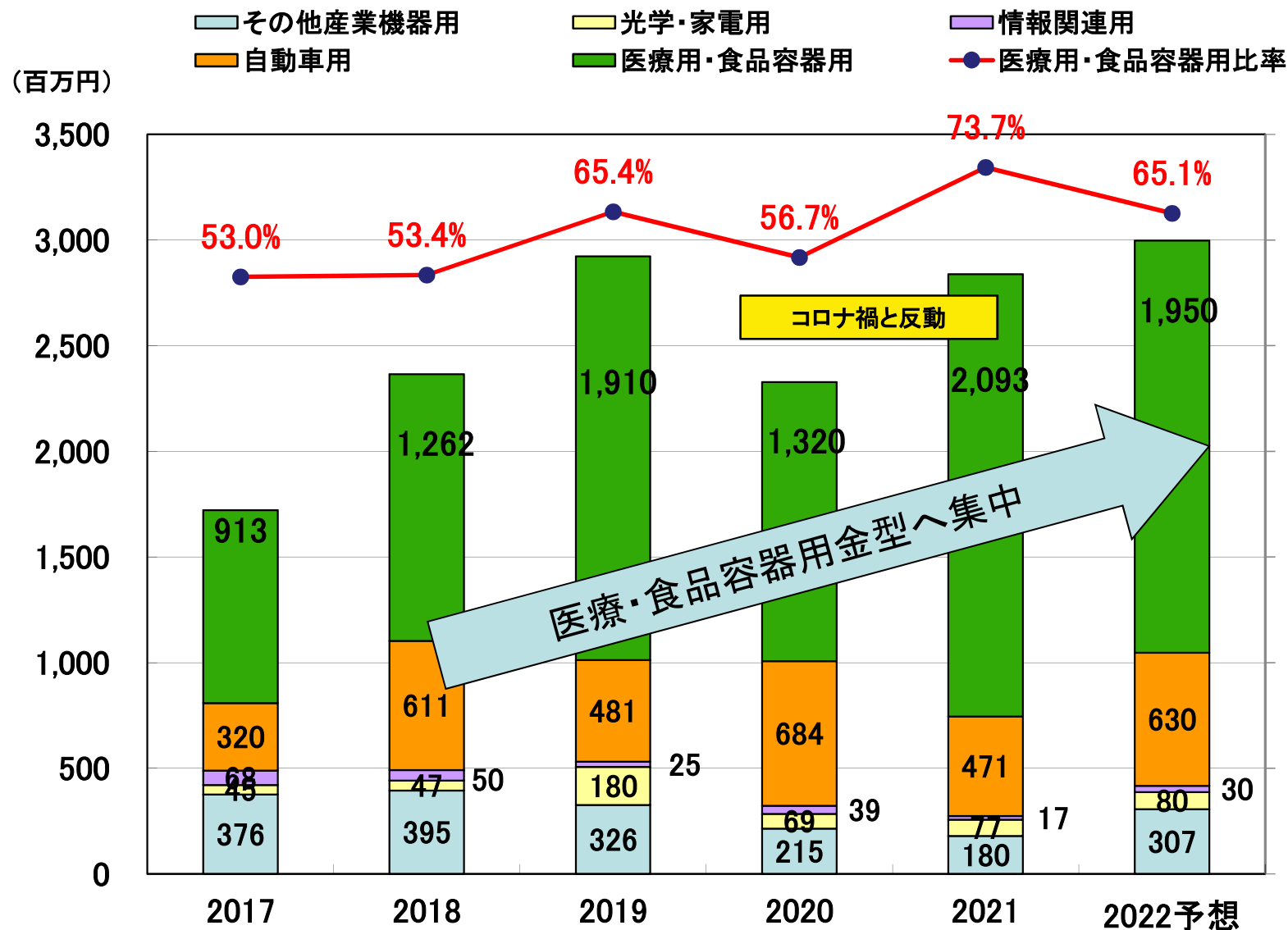
# 事業別売上高推移

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



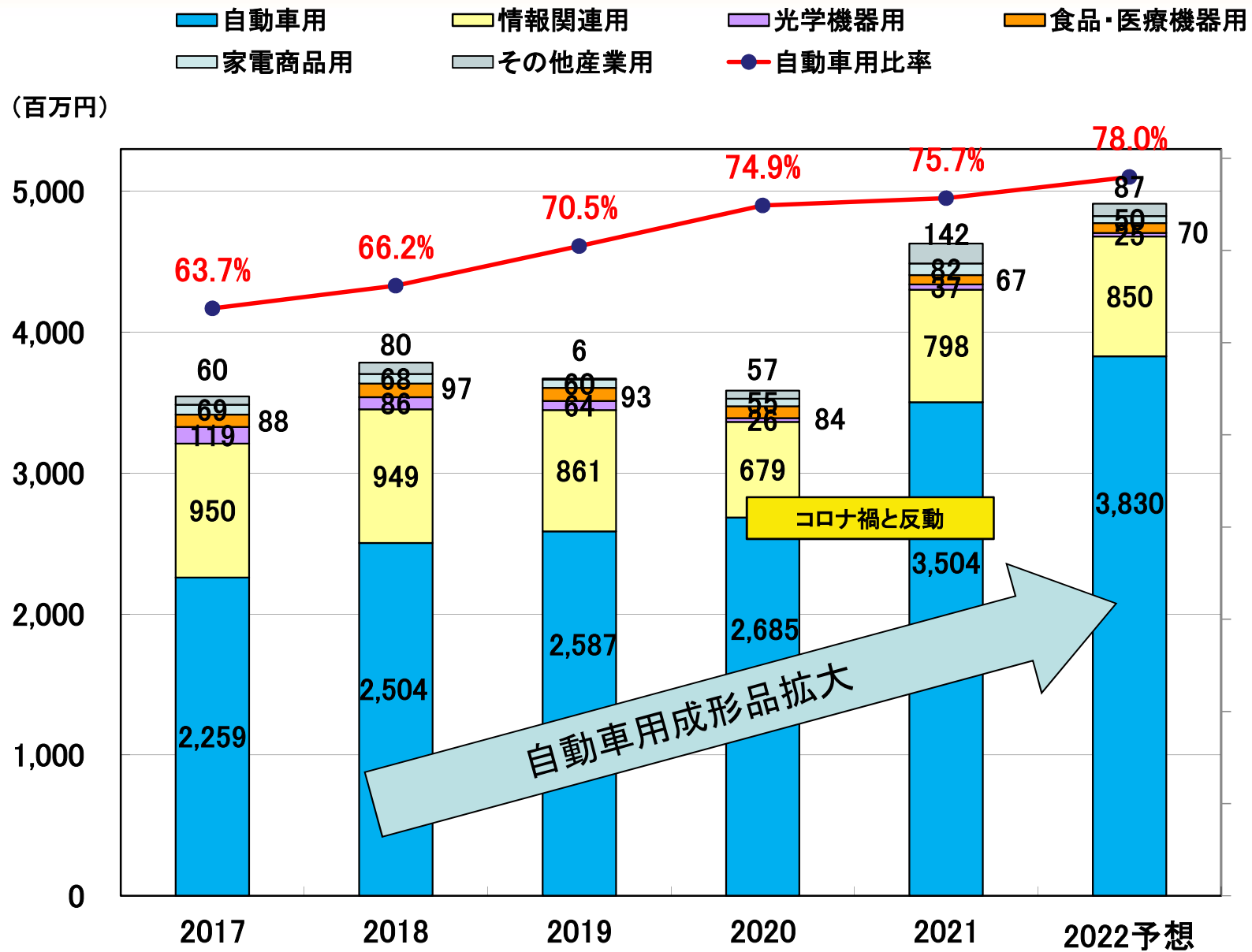
# 精密金型事業 / 分野別売上高推移

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



# 精密成形品事業 / 分野別売上高推移

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



# 2021年12月期 決算概要

《コロナ禍からの大幅回復で上場年度後の最高益達成》



# 2021年12月期 損益ハイライト

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

前期のコロナ禍の影響から大幅回復、上場年度後の最高益を達成しました

(単位:百万円)	2020年度 (前期実績)	2021年度 (修正予想)	2021年度 (実績)				
	金額 (構成比)	金額 (構成比)	金額 (構成比)	前期比		修正予想比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	5,913	7,483	7,468	1,555	26.3%	△15	△0.2%
売上総利益	1,254 (21.2%)	1,712 (22.9%)	1,742 (23.3%)	488	38.9%	30	1.8%
営業利益	283 (4.8%)	544 (7.3%)	606 (8.1%)	322	113.9%	62	11.3%
経常利益	142 (2.4%)	554 (7.4%)	616 (8.2%)	473	333.1%	62	11.1%
当期純利益	99 (1.7%)	470 (6.3%)	506 (6.8%)	406	409.6%	36	7.6%

※「修正予想」は2021年11月12日に公表した予想値です。

\* 前期のコロナ禍による大幅な売上減少の反動もあり、金型事業、成形品事業とも売上高の急回復による稼働率の向上などにより**営業利益は、上場年度後の最高益を達成**

\* 為替差益61百万円および中国での土地売却益80百万円の発生があり、**経常利益・当期純利益とも上場年度後の最高益を達成**

# 2021年12月期 貸借対照表概要

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)		2020年度(前期)		2021年度			
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	主な増減要因
資産	流動資産	3,500	47.0%	4,038	49.4%	537	現預金、売上債権、棚卸資産の増加
	固定資産	3,949	53.0%	4,140	50.6%	192	鈴鹿工場の設備投資による増加
資産計		7,449	100.0%	8,178	100.0%	729	
負債	流動負債	3,659	49.1%	4,834	59.1%	1,175	1年内長期借入金、仕入債務の増加
	固定負債	2,111	28.3%	1,149	14.1%	△962	長期借入金、リース債務の減少
負債計		5,770	77.5%	5,983	73.2%	213	
純資産計		1,679	22.5%	2,196	26.8%	516	利益剰余金、為替換算調整勘定の増加
負債・資本計		7,449	100.0%	8,178	100.0%	729	

有利子負債	3,844	51.6%	3,711	45.4%	△133	約定返済進むも設備資金需要あり
-------	-------	-------	-------	-------	------	-----------------

戦略的な設備投資とのバランスを勘案、有利子負債の計画的な削減実施へ

## 2022年12月期 業績予想と要因

《鈴鹿新工場を拠点とし、EV関連等新製品開発に重点先行投資》





# 2022年度 業績予想

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

中期的受注拡大を目指し、EV関連等新製品の研究開発先行投資により減益予想

(単位:百万円)	2021年度実績			2022年度予想			2022年度予想の概要
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	
精密金型事業	2,838	38.0%	22.0%	2,997	37.9%	5.6%	医療用関連分野金型の増加
精密成形品事業	4,630	62.0%	29.1%	4,912	62.1%	6.1%	自動車関連部品の増産
売上高	7,468	100.0%	26.3%	7,909	100.0%	5.9%	
売上総利益	1,742	23.3%	38.9%	1,685	21.3%	△3.3%	先行投資の減価償却費ほか経費の増加により利益率は低下
販管費	1,137	15.2%	17.0%	1,258	15.9%	10.7%	研究開発費および売上増加に伴う運送経費などが増加
営業利益	606	8.1%	113.9%	427	5.4%	△29.5%	先行投資の減価償却費、研究開発費ほかの増加により減益
経常利益	616	8.2%	331.1%	375	4.7%	△39.1%	前期の為替差益61百万円 減益要因
当期純利益	506	6.8%	409.6%	300	3.8%	△40.7%	前期の土地売却益78百万円 減益要因

【2022年度予想の変動リスク要因】 ・新型コロナの影響による顧客の稼働率の低下

# 業績推移実績および2022年度予想

PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI

(単位:百万円)

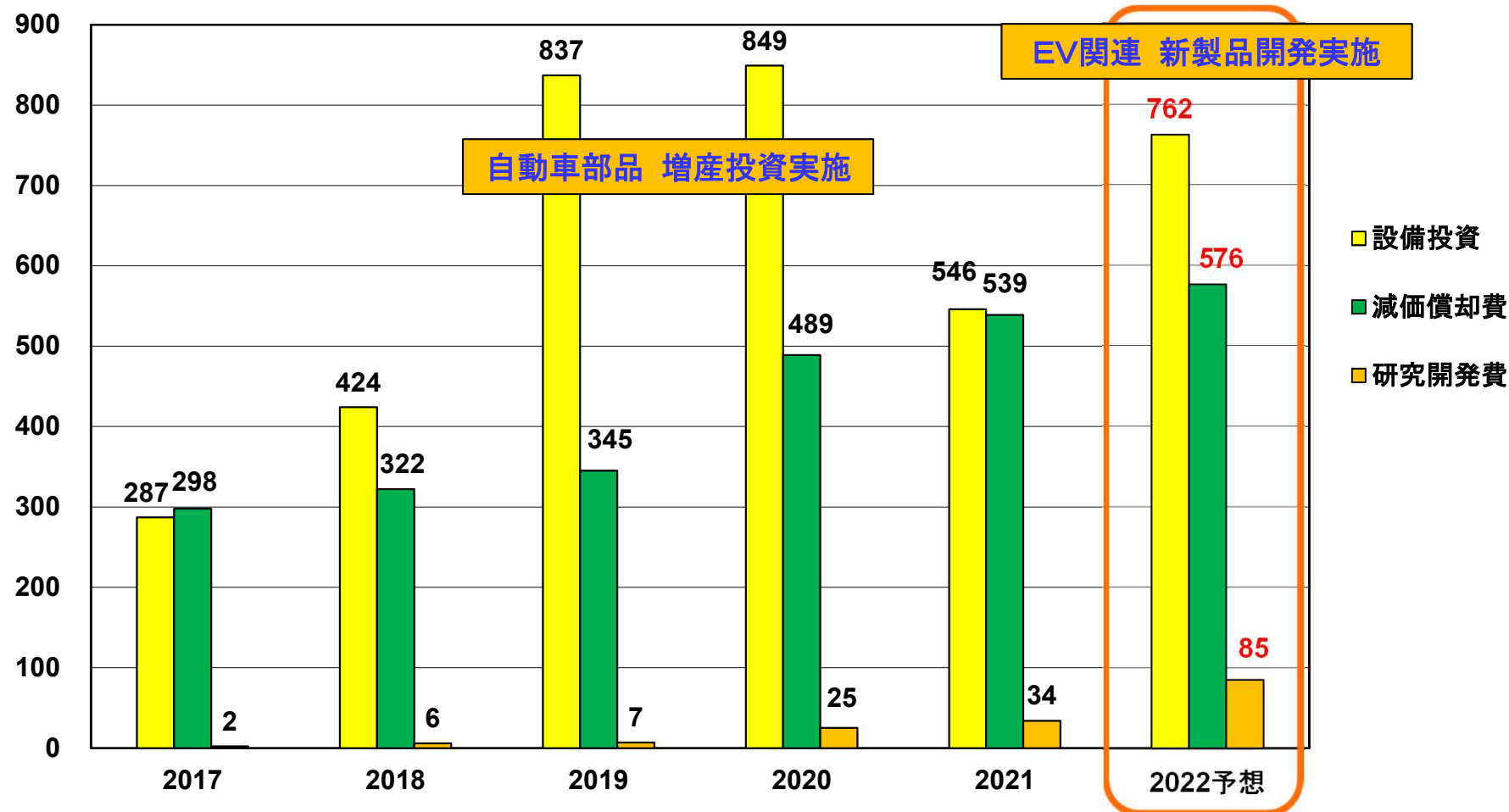
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年予想
売上高	5,267	6,149	6,593	5,913	7,468	7,909
営業利益	324	418	387	283	606	427
営業利益率	6.2%	6.8%	5.9%	4.8%	8.1%	5.4%
経常利益	141	267	342	142	616	375
当期純利益	122	178	290	99	506	300
1株当たり配当 (円)	3.00	4.00	5.00	5.00	10.00	7.00
総資産	6,068	6,192	6,985	7,449	8,178	8,249
自己資本	1,114	1,348	1,612	1,659	2,196	2,416
自己資本比率 (%)	18.4	21.8	23.1	22.3	26.8	29.3
1株当たり純資産 (円)	147.03	174.48	204.34	208.71	275.51	303.16
自己資本純利益率 (%) (ROE)	12.2	14.5	19.6	6.1	26.2	13.0
設備投資額	287	424	837	849	546	762
減価償却費	298	322	345	489	539	576
研究開発費	2	6	7	25	34	85

- ・2022年度は鈴鹿新工場を拠点としてEV関連等の新製品への研究開発費投資・設備投資を重点的に実施
- ・営業利益は、先行投資負担(減価償却・研究開発費)をこなし、2019年のコロナ禍前からの増益基調を予想

# 設備投資/減価償却費と研究開発費

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(百万円)

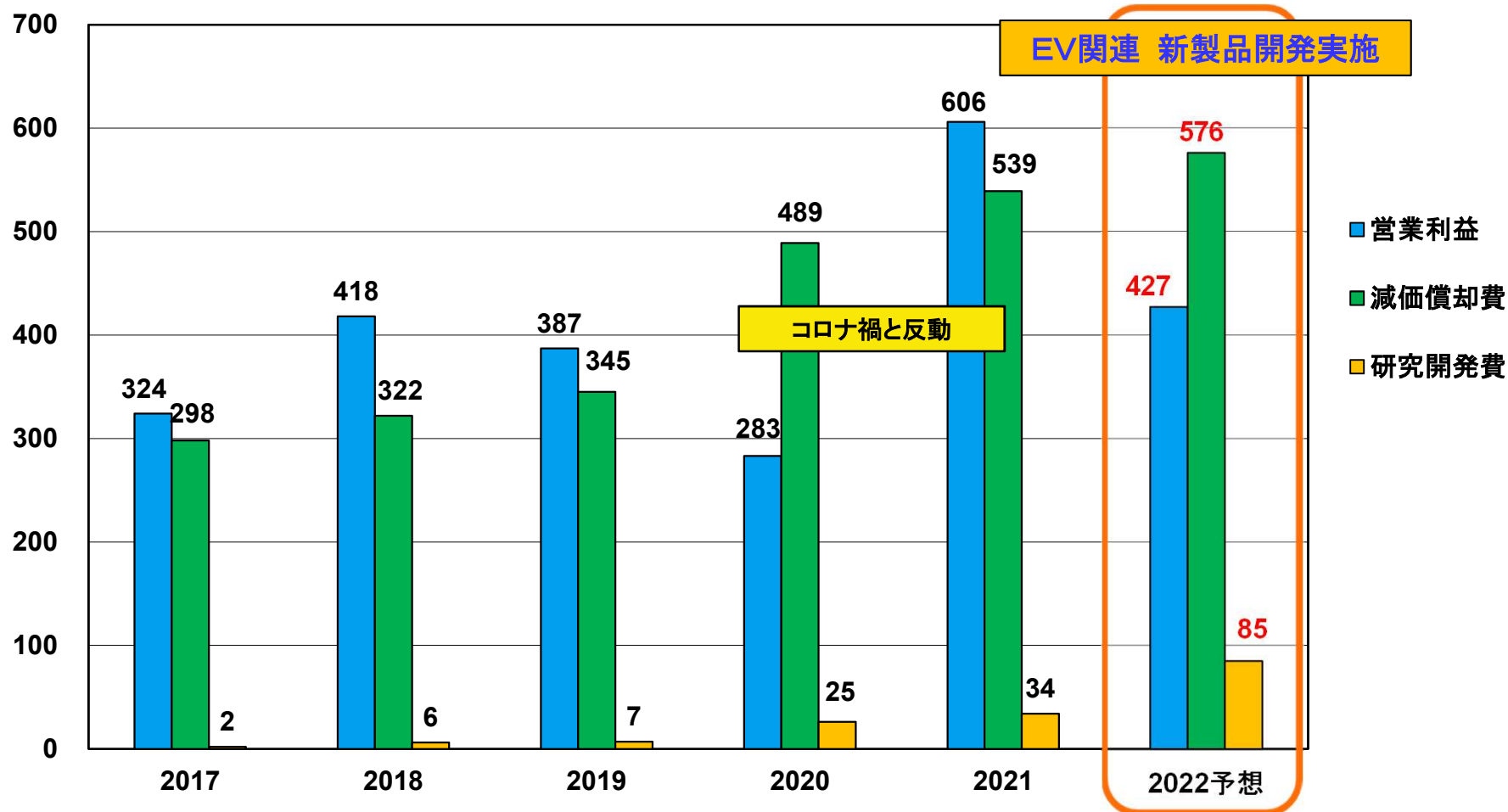


- ・2019年度からタイ・インドネシアを中心に、自動車関連成形品の受注増に対応した増産設備投資を実施
- ・2022年度は鈴鹿新工場を拠点としてEV関連等の新製品への研究開発費投資・設備投資を重点的に実施

# 営業利益と減価償却費・研究開発費

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

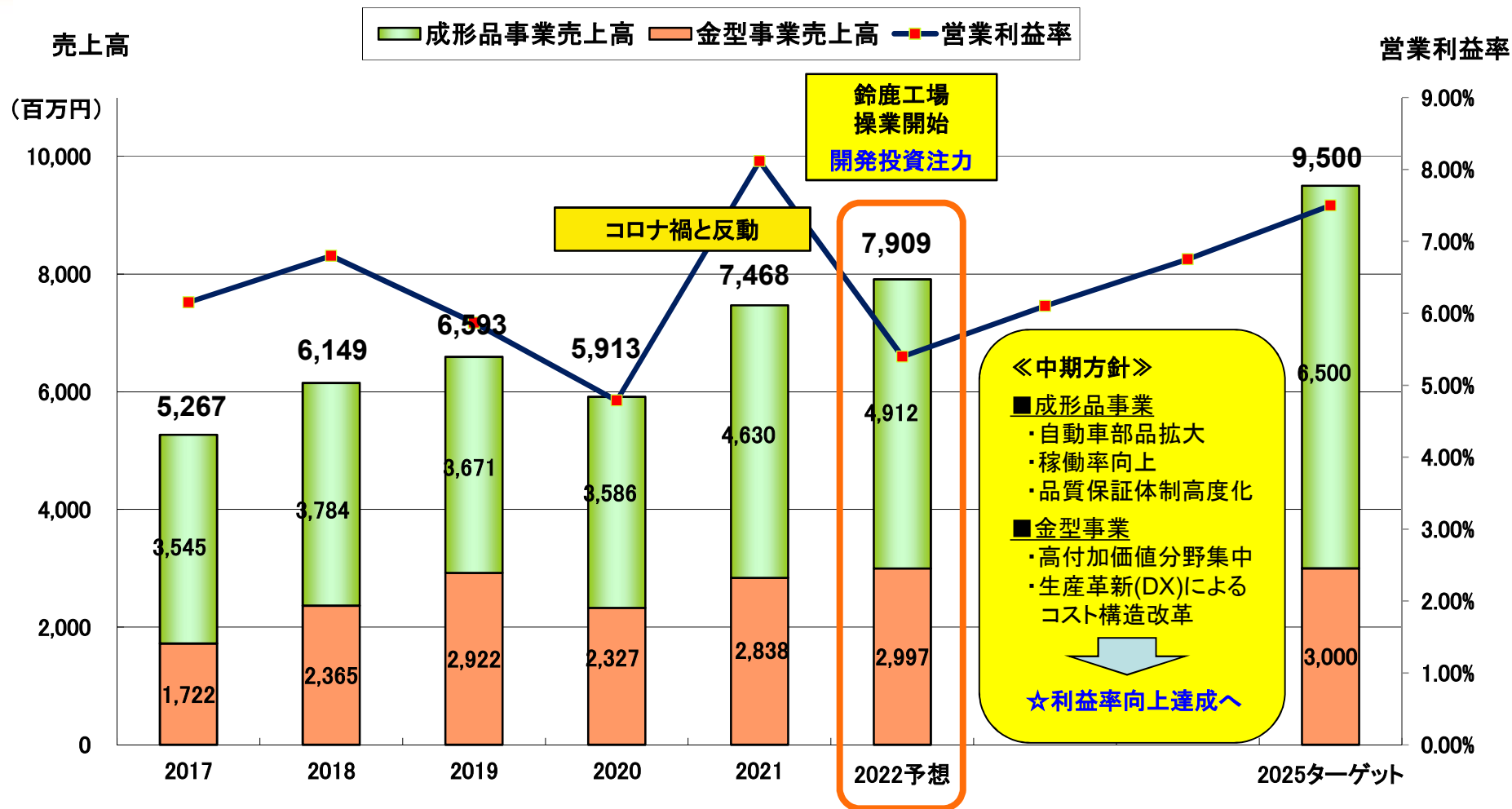
(百万円)



- ・2022年度は鈴鹿新工場を拠点としてEV関連等の新製品への研究開発費投資・設備投資を重点的に実施  
＜2021年度比 減価償却費+研究開発費で88百万円の減益要因＞

# 業績推移 実績と予想&ターゲット

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

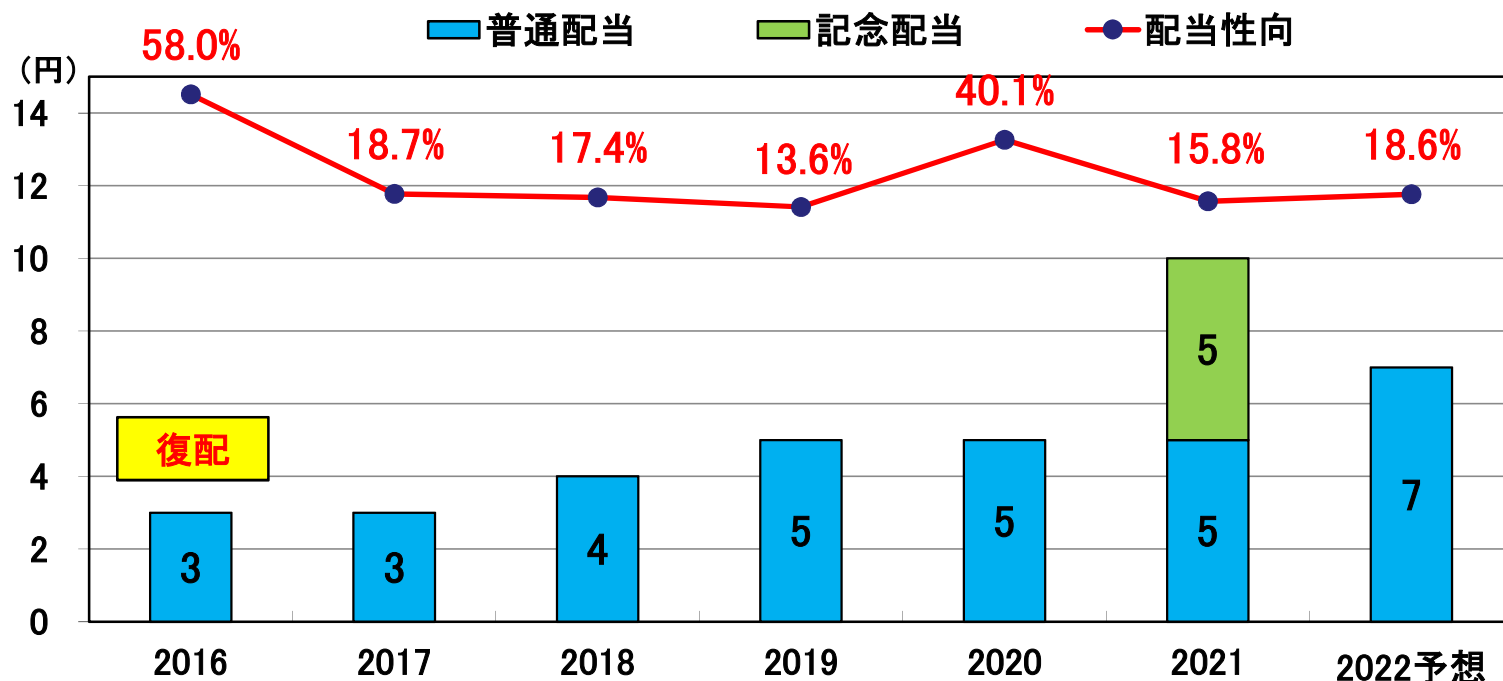


- ・2020年度は、コロナ禍による大幅な減収減益、2021年度は、反動もあり自動車部品関連等が急回復
- ・2022年度以降、自動車部品拡大の中期方針達成に向け、EV関連等の新製品開発の先行投資実施

経営体質を強化しつつ安定した配当を継続することを基本方針としております

2016年度に、操業開始後3年を経過したインドネシア子会社の営業損益の黒字化を機に13期ぶりに復配させていただいております。その後、東南アジア市場を中心とした自動車関連の精密成形品の受注拡大に伴い、グループ全体の業績が引き続き安定化する方向でありますので、株主還元を高めることが可能であると判断し、2018年度に3円から4円へ2019年度から4円から5円へ増配し、2021年度は上場年度後の最高益を記念し、記念配当を含め10円の配当を予定しております。

2022年度は、1株あたり7円の配当実施を予想しております。



## 鈴鹿工場開設準備状況



### ■工場概要

- ・名称 鈴鹿工場
- ・住所 三重県鈴鹿市御園町(御園工業団地内)
- ・開設 2022年4月予定
- ・業務 精密成形品の開発・製造
- ・用地 土地4,074㎡、建物1,676㎡

今回新たに開設いたします鈴鹿工場は、海外拠点での自動車部品の供給先である日系メーカー様の多くが集中する東海地域での量産拠点としての位置づけとともに、グループ全体の精密成形品事業のマザー工場として、今後予想されるEV(電気自動車)、自動運転車への移行に伴い自動車部品の電動化・電子制御化が急速に進む中で、対応する新製品開発の拠点とすることを目指しております。

新製品の開発には、当社の精密金型技術と2019年にグループ化した秋元精機工業の精密板金プレス技術とを組み合わせ、新たな部品の試作から海外拠点での量産立ち上げまでを一括してご提案することで受注獲得を目指します。

また、タイ、インドネシアおよび上海の量産拠点での品質保証・品質管理および生産性の向上に向けた製造工程の自動化設備の開発を併せて進めることを予定しております。

内外装、電気設備工事、一部の生産設備の設置を完了し、既存の生産品の移管の準備を進めております。



# 不二精機グループ グローバル体制構築

PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI

選ばれ続けるための  
グローバル体制構築を目指します!

